OKK ニュース

Vol.11 令和7年10月



TOP NEWS

わくわくの森特集 今シーズン 11/1 オープン

桜が丘東3丁目にある、約 14,000 mの法人所有の森、それが『わくわくの 森』です。今では、散歩や秘密基地づく りなど、こどもたちや地域の方にもなじ みの森になってきましたが、ここに至るま では様々な苦労がありました。職員、地 域の方々と一緒に開拓してきた一部始 終を紹介したいと思います。

~はじまり~

はじまりは、ごみ拾いからでした。側溝 や法面に想像より多くのごみが捨てら れていました。「少しずつできるところか ら」と声をかけると数人の職員が「手伝 います」と快く参加してくれました。

ごみ袋3、4袋 集まりました。で も、まだまだ先は 長い。



~本格開拓開始~

法人職員によるわくわくの森サークル が立ち上がり、月にI回程度地域の 方々と一緒に作業をしました。草刈りに 始まり、木の剪定(高所作業)、小川の 開通作業、溝掃除、など。開拓が進むに つれ、看板を設置し、新しい散歩ルート や、ファイヤーサークルなどもできていき ました。「あんなものがあったらいいな」 と作業のたびに、夢を語り合うのも楽し いひと時です。サークル以外でも、運動 会後など時間が合うときに各施設の職 員が作業を行い、うっそうとした森が、ど んどん遊べる森へと変わっていきまし た。



・なぜわくわくの森なのか?~

わくわくの森の名前の由来ですが、 土地を取得して間もない頃、当時の主 任・教頭たちに道を一本開通させるとい う任務(研修)が与えられました。その時 出来た道が、『わくわくの道』と名付けら れ、そこから森の名前も『わくわくの森』 になりました。ここに来る人が「わくわく できる」森、ぴったりな名前だと自画自 賛しております。



~幻(?)の~

初期の頃、車が進入できる入り口を 作ろうと、数名の男性職員でツルハシや シャベルを使って、2時間ほど法面を削 りました。ようやくできた入り口は、4輪 駆動車がぎりぎり上がれるほど。でも、 達成感はものすごいものでした。今は全 く使われていません(笑)





~これから~

まだまだわくわくの森は完成ではあり ません。研修棟やテントエリアなどを作 り、いつかはここで、こどもたちとキャン プをしたいという夢(目標)があります。 まだまだ開拓は続きます。もし、賛同して くださる方は、ぜひ一緒に作業しません か(軽作業もあります)。

お問い合わせは

Mokk-chiiki@gaea.ocn.ne.jp ※わくわくの森は、11月~6月末までをオー プン時期として、活動ができるよう整備を 行っています。今はオープン前ではありま すが、栗や柿がなってきているので、ぜひ

まだまだ保育士募集中!

Vol.4 でお伝えしたとおり、岡山こども 協会は、令和9年4月に新規園オープン を予定しています。順調に採用を進める ことができていますが、まだまだ令和8 年4月採用の職員を募集しています。お 知り合いの方で、保育士等(中途、新卒 どちらでも OK) がいらっしゃれば、ぜひ ご紹介ください。

お問い合わせは、

okayamakodomokyoukai@gaea.o <u>cn.ne.jp</u>まで。



新看情報

さくらが丘建設工事情報

仮設通路ニックネーム決定! 丘の上ぱるテラスでニックネーム案を 募集したところ、10家庭、21案の応 募がありました。

まず、丘の上ぱるテラス全職員による 予選投票で上位3案に絞った後、保 護者、そら組、ほし組、こどもセンター、 あんずの家のこどもたちに投票しても らい、激戦の末、決定しました。

|位 決定 得票数 93

『丘っこストリート』

2位 得票数 82 『丘の小径』 3位 得票数 77 『ぱるルン』

『丘っこストリート』を考えたのは、さく らが丘保育園保護者歴19年目の

時本まりこさんです。 🥙 こちらの案は、「かっこいい」と園児か

ら大人気。特に男子から票を集めま した。ちなみに、『丘の小径』は、小学 生、大人に人気。『ぱるルン』は女子 に人気でした。



Ĺ ス IJ ┡

次号のトピック(予告なく変更する場合有)

●運動会特集

【編集後記】

9/30 今年の栗や柿の実りを確認しに、わくわくの森 に行きました。夏の間、なかなか手入れが難しかったせ いで、草がぼうぼうです。ファイヤーエリアの草をかき分 けて歩いていると、セミの鳴き声が聞こえてきました。ツ クツクボウシです。ツクツクボウシを調べてみると、「夏 の終わりを告げるセミ」だそうです。今年も猛暑、酷暑と いう言葉がメディアで取り上げられました。この時期に、 ツクツクボウシの鳴き声を聴くことが当たり前になるの かもしれません。地球温暖化は加速度的に進んでいま す。こどもや孫の世代に、私たちは何を残せるのでしょ うか。

バックナンバー(「情報公開」の欄に掲載しています) https://okayamakodomokyoukai.jp/overview